

一級自動車工学科・自動車整備科			2022年度 授業計画		
時 期	2 年A巡	単元	講義	教科名	電装品整備A
科 目	自動車整備	教科書等 持参品	2 級ガソリンエンジン 電装品構造		発行日 2020年2月5日
※ ※1 総時限	12時限		教科担 当	高橋 潔	※ ● ■
※ ※1 授業時間	19.2時間			見谷 哲	※ ● ■
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1891.2時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1850時間（50分ベース））					
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として電装品整備の実務経験がある教員により電装品の構造・作動について指導する					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
①バッテリーの構造、機能、整備を理解する。 ②始動装置の構造、作動を理解する。 ③点火装置の構造、作動を理解する。					
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）					
①バッテリーの機能を理解し説明できる。 ②バッテリーの整備方法を理解し説明できる。 ③モータの原理/分類を理解し説明できる。 ④始動装置の役割、構成部品を理解し説明できる。 ⑤始動装置の構造、名称、作動、電気の流れ、特性を理解し説明できる。 ⑥始動装置の点検整備を理解し説明できる。 ⑦点火装置の役割、構成部品、電気の流れ（バッテリー～スパークプラグ、アースまで）理解し説明できる。 ⑧点火装置の構造、名称、電気の流れ、制御を理解し説明できる。 ⑨点火時期制御を理解し説明できる。					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：（工学科70点以上・整備科60点以上） 工学科 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 整備科 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、工学科70点以上、整備科60点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により再評価を実施し、合格とみなす場合がある。					
5. 準備学習					
・3級ガソリンエンジンのテキストの内容を復習しておくこと。					
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す ※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者					
6. 指導目標					
①バッテリーの機能、特性を理解させる。 ②始動装置の役割、構成部品を理解させる。 ③始動装置の構造、名称、作動、電気の流れ、点検整備を理解させる。 ④点火装置の役割、構成部品、電気の流れを説明できる。 ⑤点火装置の構造、名称、電気の流れ、制御を理解させる。					

[illegible]

一級自動車工学科・自動車整備科			2021年度 授業計画			
時 期	2 年B巡	単元	講義	教科名	電装品整備B	
科 目	自動車整備	教科書等 持参品	2 級ガソリンエンジン 電装品構造		発行日	2020年2月5日
※ 注1 総時限	12時限		2 級ジーゼルエンジン		教科担 当	高橋 潔
※ 注1 授業時間	19.2時間		2 級シャシ			見谷 哲
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1891.2時間（50分ベース）を確保（法定合計時間 1 8 5 0 時間（50分ベース）						
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士として電装品整備の実務経験がある教員により電装品の構造・作動について指導する						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①エアコンディショナの構造、作動、整備を理解する。 ②自動車の電気計器の構造、作動を理解する。 ③充電装置の構造、作動を理解する。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）						
①エアコンディショナの構成部品、名称、役割を理解し説明できる。 ②エアコンディショナの構造、作動、整備を理解し説明できる。 ③電気計器の役割、構成部品を理解し説明できる。 ④電気計器の構造、名称、作動、電気の流れを説明できる。 ⑤充電装置の構造、名称、作動、電気の流れを説明できる。 ⑥充電装置の点検整備を理解し説明できる。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：（工学科70点以上・整備科60点以上） 工学科 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 整備科 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、工学科70点以上、整備科60点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により再評価を実施し、合格とみなす場合がある。						
5. 準備学習						
・3級自動車シャシ、3級自動車ガソリン・エンジン、3級自動車ジーゼルの各テキストの内容を復習しておくこと。						
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す ※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者						
6. 指導目標						
①エアコンディショナの構成部品、名称、役割を理解させる。 ②エアコンディショナの構造、作動、整備を理解させる。 ③電気計器の役割、構成部品を理解させる。 ④電気計器の構造、名称、作動、電気の流れを理解させる。 ⑤充電装置の構造、名称、作動、電気の流れ、点検整備を理解させる。						

一級自動車工学科・自動車整備科			2022年度 授業計画		
時 期	2 年C巡	単元	講義	教科名	電装品整備C
科 目	自動車整備	教科書等 持参品	2 級ジーゼルエンジン 電装品構造		発行日 2020年2月5日
※ 注1 総時限	09時限		2 級シャシ		教科担 高橋 潔
※ 注1 授業時間	14.4時間				当 見谷 哲
※ 注2 ● ■ ※ 注2 ● ■ ※ 注2 ● ■					
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1891.2時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1850時間（50分ベース））					
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として電装品整備の実務経験がある教員により電装品の構造・作動について指導する					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
①自動車の電気計器の構造、作動を理解する。 ②安全装置及び付属装置の構造、作動を理解する。 ③エンジンの点検・整備を理解する。（O B D）					
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）					
①電気計器の役割、構成部品を理解し説明できる。 ②電気計器の構造、名称、作動、電気の流れを理解し説明できる。 ③安全装置及び付属装置の構造、作動を理解し説明できる。 ④エンジンの点検・整備を理解し説明できる。（O B D）					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：(工学科70点以上・整備科60点以上) 工学科 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 整備科 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、工学科70点以上、整備科60点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により再評価を実施し、合格とみなす場合がある。					
5. 準備学習					
・3級シャシ、3級ガソリン・エンジン、3級ジーゼルの各テキストの内容を復習しておくこと。					
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す ※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者					
6. 指導目標					
①電気計器の役割、構成部品を理解させる。 ②電気計器の構造、名称、作動、電気の流れを理解させる。 ③安全装置及び付属装置の構造、作動を理解させる。 ④エンジンの点検・整備を理解させる。（O B D）					

